

# 疑 質 案 議

第十八号議案 平成二十二年度佐賀市一般

会計補正予算(第6号)

就学援助受給者の中学校給食の注文状況は？

歳出 教育費 就学援助費 △九五〇〇千円

(質疑) ①九五〇万円の減額の理由 ②中学校給食を注文していない生徒の状況。

(答弁) ①平成二十二年九月からの選択制の中学校給食

実施に当たり、就学援助受給者について給食の申し込み率を約八〇%と想定し、一、九〇〇万円を予算措置していたが、十二月時点で就学援助者のうち給食を申し込んだ生徒は三五七名で、就学援助認定者八九三名の約四〇%程度となった。よって、今回、九五〇万円を不用額と見込み、減額の措置を行う ②ある中学校では、選択制の弁当を注文した生徒が約三八%、家庭からの弁当等を持参している生徒が約四八%、パン等を購入している生徒が一四%で、就学援助対象者で給食

弁当を頼んでいない子どもたちは家庭からの弁当等持参やパン等の購入の約六二%の中含まれていると推察している。



企業誘致は雇用にもずびついているか？

歳出 商工費 企業誘致推進事業

六一、四五二千円

(質疑) ①対象各社ごとの補助金の累計額 ②雇用状況は ③現場の実態把握は ④企業誘致に当たり、雇用のあり方についての要請や制約などは付しているのか。

(答弁) ①平成二十二年度までの累計額(見込み含む)

として、損害保険ジャパンは建物賃借料補助金、雇用奨励金等で三億六、七〇〇万円。小糸九州は建物取得費補助金、雇用奨励金等で約六億六、九〇〇万円。EMWファクトリーは設備費補助金等で約一、五〇〇万円。プライムデリカは建物取得費補助金等で約一億二、〇〇〇万円。かわでんは立地奨励金で七八〇万円。クッキングセンター佐賀は雇用奨励金等で約三、三〇〇万円。味の素は設備費補助金等で約一、七六〇万円 ②平成十八年から二十二年度までの従業員数は正社員が六八四人増の一、〇九九人、パート社員は二〇九人増の八五二人、契約・派遣社員は一八一人増の四二〇人。合計で一、〇七四人増の二、三七〇人 ③進出企業の雇用状況調査は毎年四月に実施している ④誘致企業には誘致段階で市内からの正規雇用を要請し、進出後も正規雇用の増員要望をしている。公金を支出して奨励しているので、今後も正規社員での雇用を要望していきたい。

なぜ伸びない、耐震診断補助事業

歳出 土木費 住宅・建築物耐震診断費補助金

△三、四五〇千円

(質疑) ①減額の理由、予算・利用実績の推移は ②利用が伸びていない理由は。広報活動や制度の本身に問題はないか ③他の事業と組み合わせ等の工夫は。

(答弁) ①平成二十二年度は戸建て住宅一〇戸、共同住宅一棟を見込んで予算計上をした。十二月までの利用実績は戸建て住宅三件。今後の見込みをあと二件として減額した。事業初年度の二十一年度の予算は八、〇〇〇千円で実績は三件二六六千円。二十二年度の予算は三、八八〇千円で現時点の実績は三件二一、一千円 ②共同住宅は別途に多額の費用がかかること、戸建て住宅は昭和五十六年以前に建てられた建築物が対象であるため、耐震診断や補強よりも建て替えや住み替えを検討することが多いことが理由と考えられる。広報は市報、ホームページを活用している。補助対象となる共同住宅への紹介文書の送付なども行っている。制度の本身は九州地区においてはおおむね本市と同様であり、問題があるとは考えていない ③エコポイントや住宅リフォームへの補助などは耐震化を進めるために有効であると考えている。

第六号議案 平成二十二年度佐賀市一般会計予算

今年度の予算編成の考え方は？

（質疑）

①予算総額が八六六億円と前年度に比べて約四一億円増となった理由は ②財政の健全化については一定の成果水準に達したのか ③投資的経費の増額による経済及び雇用に与える効果は ④今後もこうした増額予算を続けると市債（市の借金）は平成二十七年期末で約五〇億円増となるが、人口減少社会の今、市債に対する考えは。

（答弁）

①前年度に比べ、積極的に地域経済の下支えをするために投資的経費を約二四億円増とし、市民生活を支えるために生活保護費や子ども手当支給費などを約一二億円増とした ②国の政策等により、一定の財源も確保されることになり、他自治体等と比較して本市の財政は安定した状況にあると考える ③経済波及効果は昨年度よりも約五〇億円多い約二三〇億円と試算している。なお、試算はしていないが、一定の雇用確保につながると期待する ④今後の市債借り入れはその時点の地域経済の状況を考慮して判断していきたい。

まちづくりファンド活用事業とは？

歳出 総務費 まちづくりファンド活用事業 一四、七〇七千円

（質疑）

①事業の概要及び資金拠出を受けるふるさとづくり基金の状況 ②支援対象者及び支援対象事業 ③支援の決定までの流れは。

（答弁）

①財民間都市開発推進機構が、地域のまちづくり推進のために地方公共団体等の基金に資金の拠出を行い支援するもの。資金拠出を受けるとして、地方公共団体と住民、企業など民間からの資金拠出がなされる基金である必要があり、本市においては「佐賀市ふるさとづくり基金」が該当。平成二十三年二月末現在の同基金の残高は約八億八、〇〇〇万円。今回支援を受けた四、〇〇〇万円を同基金において管理し、平成二十三年度は約一、四七〇万円をまちづくり活動を行う市民団体のハード整備事業費の助成に充てる ②対象者は団体または個人で、建造物の所有者、建造物の利用について所有者から承諾を得ている者を予定。対象事業は、四核構想エリア内での空き店舗解消やファサード整備などの市民主導のまちなか通り動線づくり事業、市内全域を対象とした歴史的建造物等を生かした交流とにぎわいづくり事業、市内にある重要建造物をコミュニティの交流の場として活用する重要建造物等活用事業 ③原則公募、選定過程の透明性及び公平

やまびこの湯改修の内容は？

歳出 商工費 やまびこの湯改修事業 一七〇、三六六千円

（質疑）

①今後のスケジュールは ②改修工事の具体的な内容は ③木質バイオマスを燃料とするボイラー導入を検討したか。

（答弁）

①設計委託の応募は六社からあっており、三月末に設計業者を決定し、八月中旬までに設計を完了、十月から三月までで改修工事を実施する。その間は施設を閉鎖し、来年の四月から営業開始を予定 ②苦情の多い設備や稼働率の低い施設などを具体的に提示した上で、公募型プロポーザルという形で設計業者からの提案を受けて、工事費約一億五、〇〇〇万円の範囲内で改修を行う ③ボイラー設備の更新時期などの関係から今回の改修では採用しないが、今後、設備の更新において供給量やコストなどを勘案しながら検討を行う。



やまびこの湯